

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	920A	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.057	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：920A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：930T

フレアーの幅 インチ

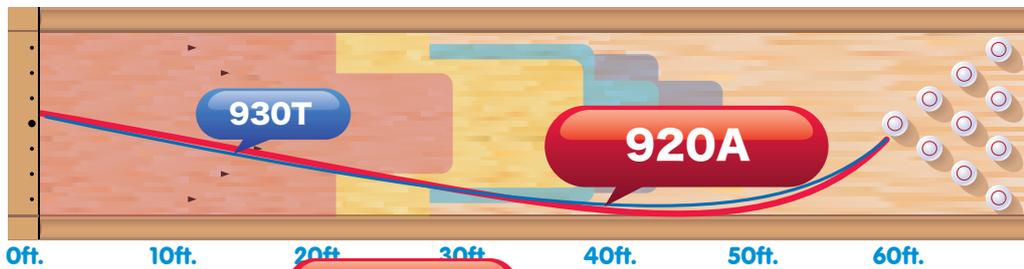
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

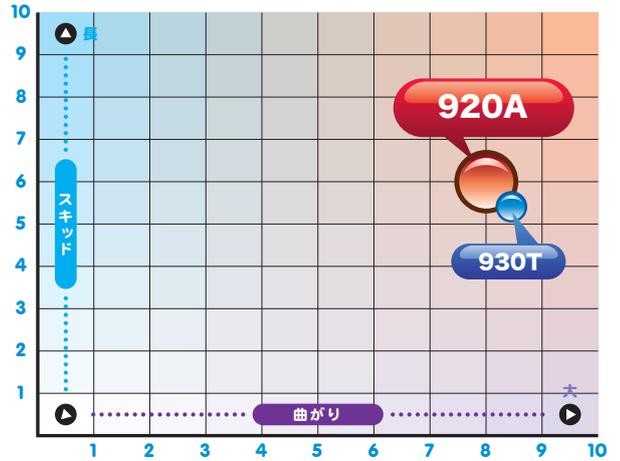
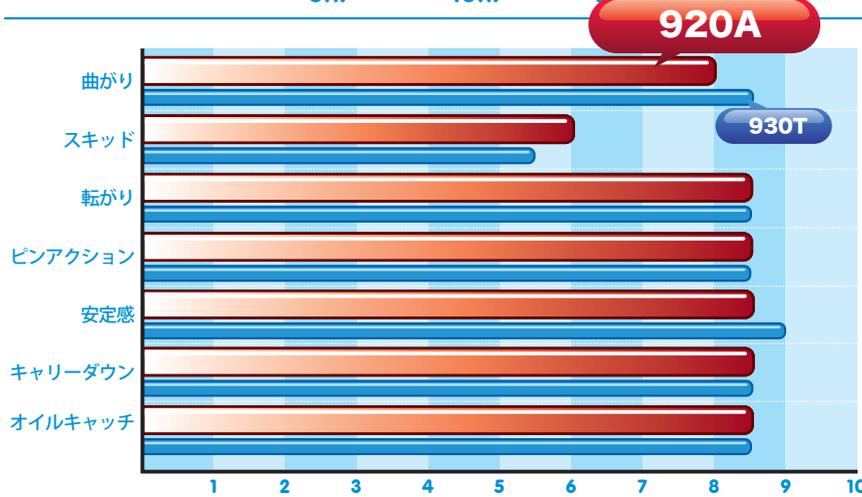
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

”9”がもつHigh-performance。先陣を切って発売された930Tはプロトーナメントでも使用率が高く、特にオイルが多いと感じられるステージでの安定した曲がりと柔らかいピンアクションで余すことなくその性能を発揮しています。

今回の”9”シリーズは”T”というTraction性能を”A”Angularに変え、High-performanceの性能を保ちながら先での動きを重要視した920Aの発売です。

今回トラック社が”9”シリーズで”A”という性能を導きだすパワーユニットは、HP GEN 3 PEARLリアクティブの#4000アブラロンとMODIFIED LEGGOコア。前回下二ケタ”30”のマスパイアス・ディファレンシャルを”20”に変更し、ミッドエアでの動き出しもコアで調整しています。カバーストックは評価が高かったライジングSEで使用したHP GEN 2 PEARLリアクティブを強化、さらに高いステージでの性能を感じて頂けるでしょう。

930Tを投げ、手前でトラクションが効き過ぎる場合のコンディションで使用し、緩やかな曲線よりも先での動きを重視するボウラーやピンヒットの入射角が欲しいと思う場合にこの920Aを使用してください。

今回920Aは箱出し#4000アブラロンで発売されますが、投球を続けていくうちに表面の光沢が出てくるとさらに先での動きは鋭角になり、キレ幅も増大する傾向があります。”A”という性能を持ち続けるためにはあまり粗い表面加工は避けるべきでしょう。920A・715A・505Aと各々カバーストックの強さの差で”A”Angularの性能が出揃いました。攻撃的にラインを攻める”A”で貴方の快進撃も始まります。

特記事項

ついに登場した”9”のカバーストックでの”A”のリアクション。
”A”ならではのリアクションをオイルに強いカバーストックで感じてください。